



野外調査研究会 講座

＜荒川源流域の自然と文化＞

奥秩父の山々の成り立ちと生き立ち

2017年6月19日 本間岳史

I 荒川の源流と奥秩父山地の地形

1 荒川の流区

- (1) 荒川の主要河川と5つの流区
- (2) 169kmから173kmへのびた荒川
- (3) 荒川源流点と荒川起点はどこ？

2 奥秩父山地とは？

- (1) 秩父山塊, 秩父山地, 関東山地の違いは？
- (2) 秩父山地の地形区分

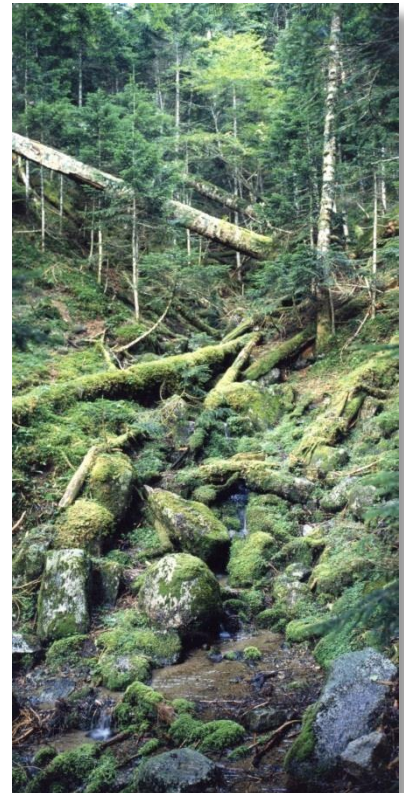
II 奥秩父山地の地質と生物

1 奥秩父山地の成り立ち(どのような地層・岩石でできているか？ どんな生きものがいるか？)

- (1) 関東山地の地質(地帯区分)
- (2) 奥秩父山地とその周辺地域の地質
- (3) 奥秩父山地とその周辺地域の生きものたち

2 奥秩父山地の生き立ち(どのような経緯をたどってきたのか？)

- (1) 秩父山地のパーツが誕生した時代—遠い海の物語—
- (2) 秩父山地の骨格がつけられた時代—海溝と地底の物語—
- (3) 古秩父湾の時代—化石動物たちの楽園と太古のマグマ活動—
- (4) 河岸(成)段丘がつけられた時代—河川が刻む大地, 隆起する奥秩父山地—



荒川源流点付近
(標高約2200m)



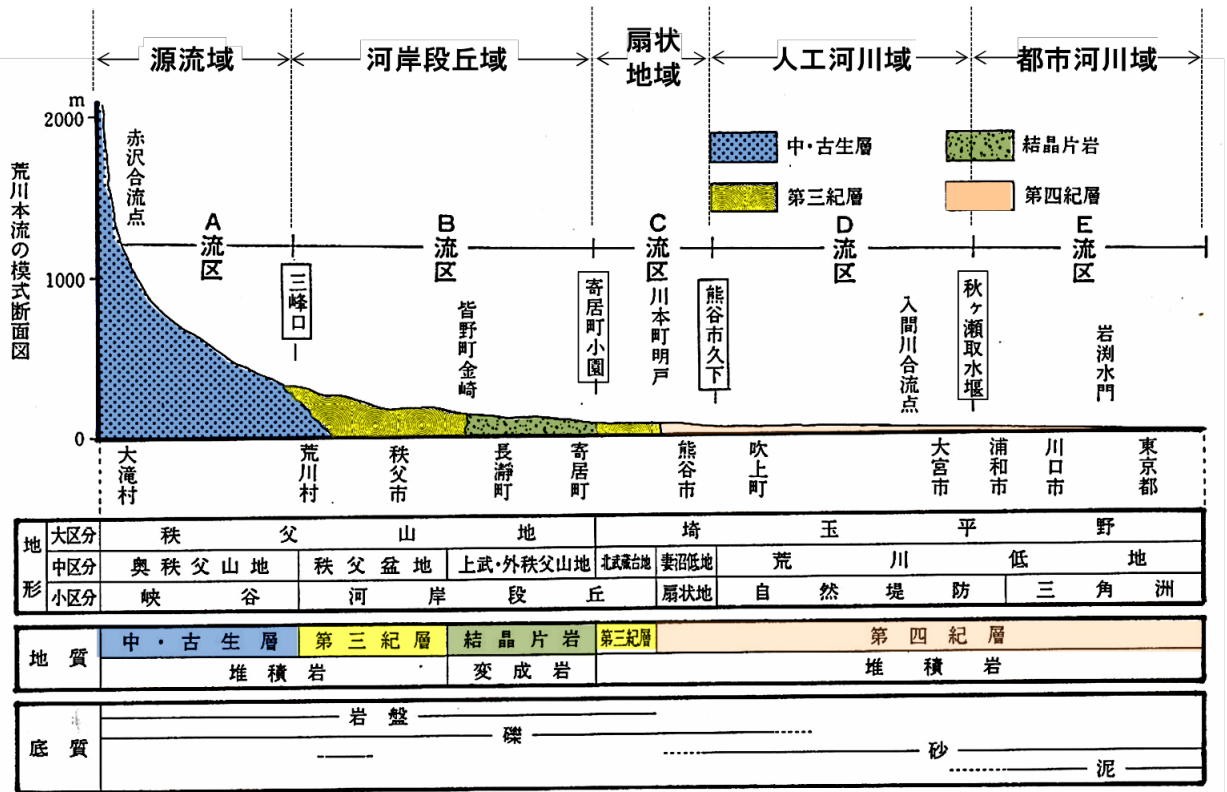
周氷河地形(甲武信ヶ岳付近)



林床がミヤコザサのコメツガ林(標高約1750m)

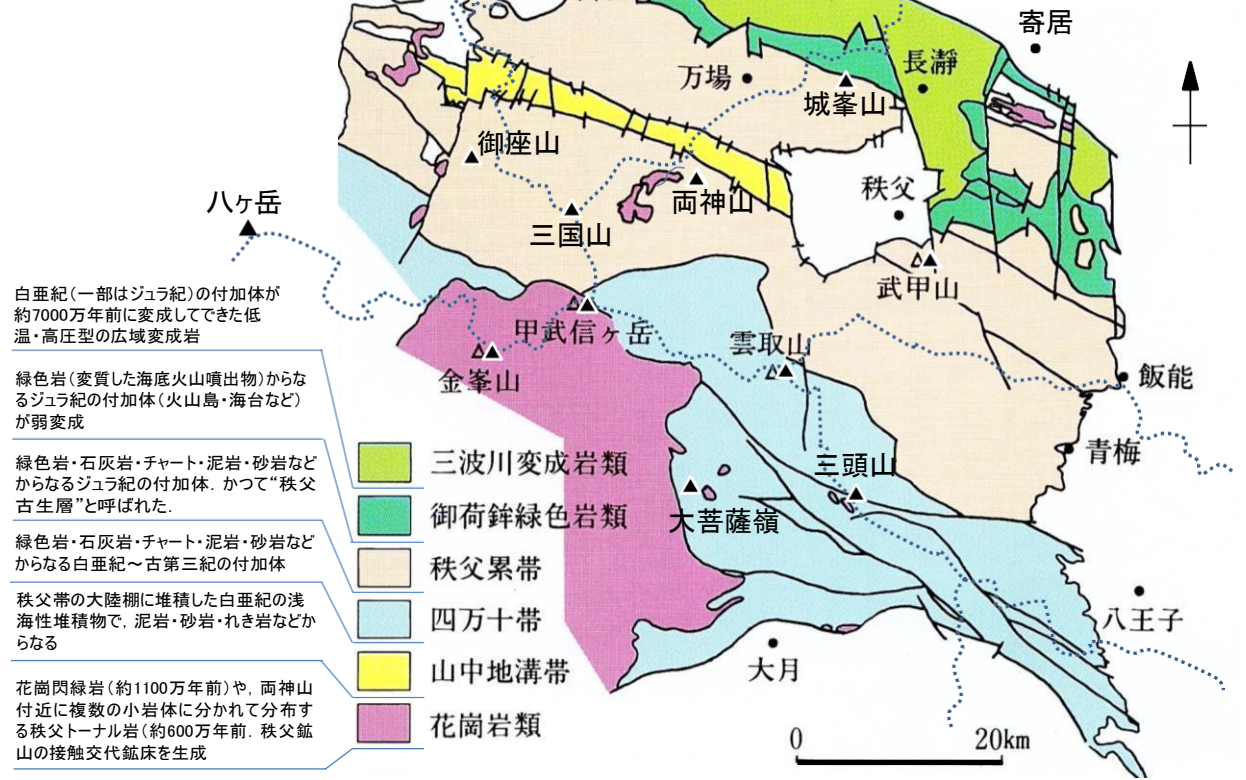


荒川の主要河川と5つの流区



秩父山地の流区分分

関東山地の地質図 (地帯区分)



白亜紀(一部はジュラ紀)の付加体が約7000万年前に変成してできた低温・高圧型の広域変成岩

緑色岩(変質した海底火山噴出物)からなるジュラ紀の付加体(火山島・海台など)が弱変成

緑色岩・石灰岩・チャート・泥岩・砂岩などからなるジュラ紀の付加体。かつて“秩父古生層”と呼ばれた。

緑色岩・石灰岩・チャート・泥岩・砂岩などからなる白亜紀～古第三紀の付加体

秩父帯の大陸棚に堆積した白亜紀の浅海性堆積物で、泥岩・砂岩・れき岩などからなる

花崗閃緑岩(約1100万年前)や、両神山付近に複数の小岩体に分かれて分布する秩父トータル岩(約600万年前、秩父鉢山の接触交代鉱床を生成

- 三波川変成岩類
- 御荷鉾緑色岩類
- 秩父累帯
- 四万十帯
- 山中地溝帯
- 花崗岩類

